

## 5. 障がい者施策について

(1) 障がいのある人が、自分の能力や特性に応じ、住み慣れた地域で安心して自立した生活を営むために、今後さらに充実すべき施策

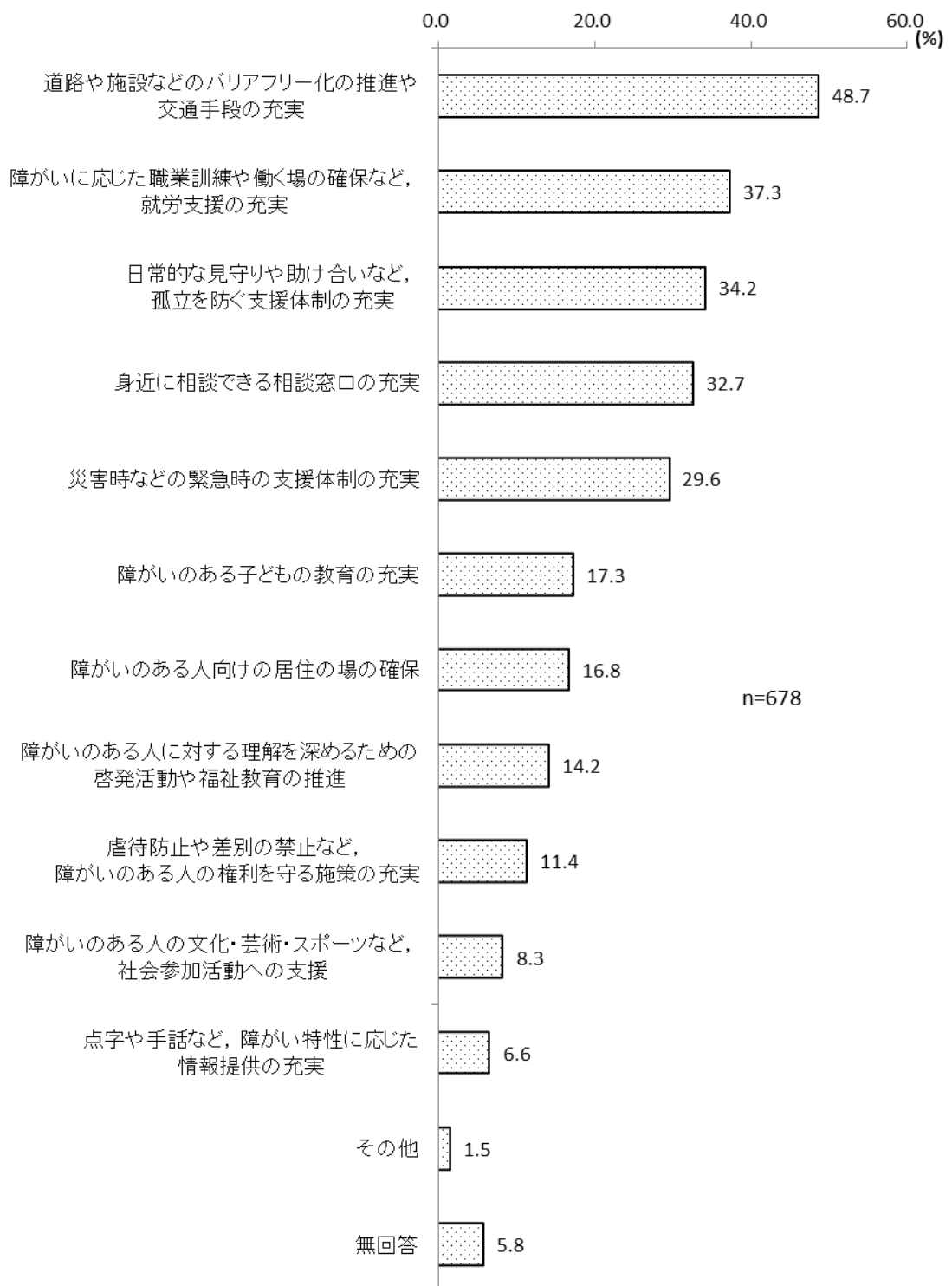
◇「道路や施設などのバリアフリー化の推進や交通手段の充実」がほぼ5割

| 問 15 障がいのある人が、自分の能力や特性に応じ、住み慣れた地域で安心して自立した生活を営むために、今後さらに充実すべき施策はどのようなことだと思いますか。<br>(○は3つまで) |                                  | n = 678 |
|---|----------------------------------|---------|
| 1   | 道路や施設などのバリアフリー化の推進や交通手段の充実       | 48.7%   |
| 2   | 障がいのある人向けの居住の場の確保                | 16.8    |
| 3   | 身近に相談できる相談窓口の充実                  | 32.7    |
| 4   | 点字や手話など、障がい特性に応じた情報提供の充実         | 6.6     |
| 5   | 障がいのある子どもの教育の充実                  | 17.3    |
| 6   | 障がいに応じた職業訓練や働く場の確保など、就労支援の充実     | 37.3    |
| 7   | 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動や福祉教育の推進 | 14.2    |
| 8   | 障がいのある人の文化・芸術・スポーツなど、社会参加活動への支援  | 8.3     |
| 9   | 虐待防止や差別の禁止など、障がいのある人の権利を守る施策の充実  | 11.4    |
| 10  | 災害時などの緊急時の支援体制の充実                | 29.6    |
| 11  | 日常的な見守りや助け合いなど、孤立を防ぐ支援体制の充実      | 34.2    |
| 12  | その他                              | 1.5     |
|   | (無回答)                            | 5.8     |

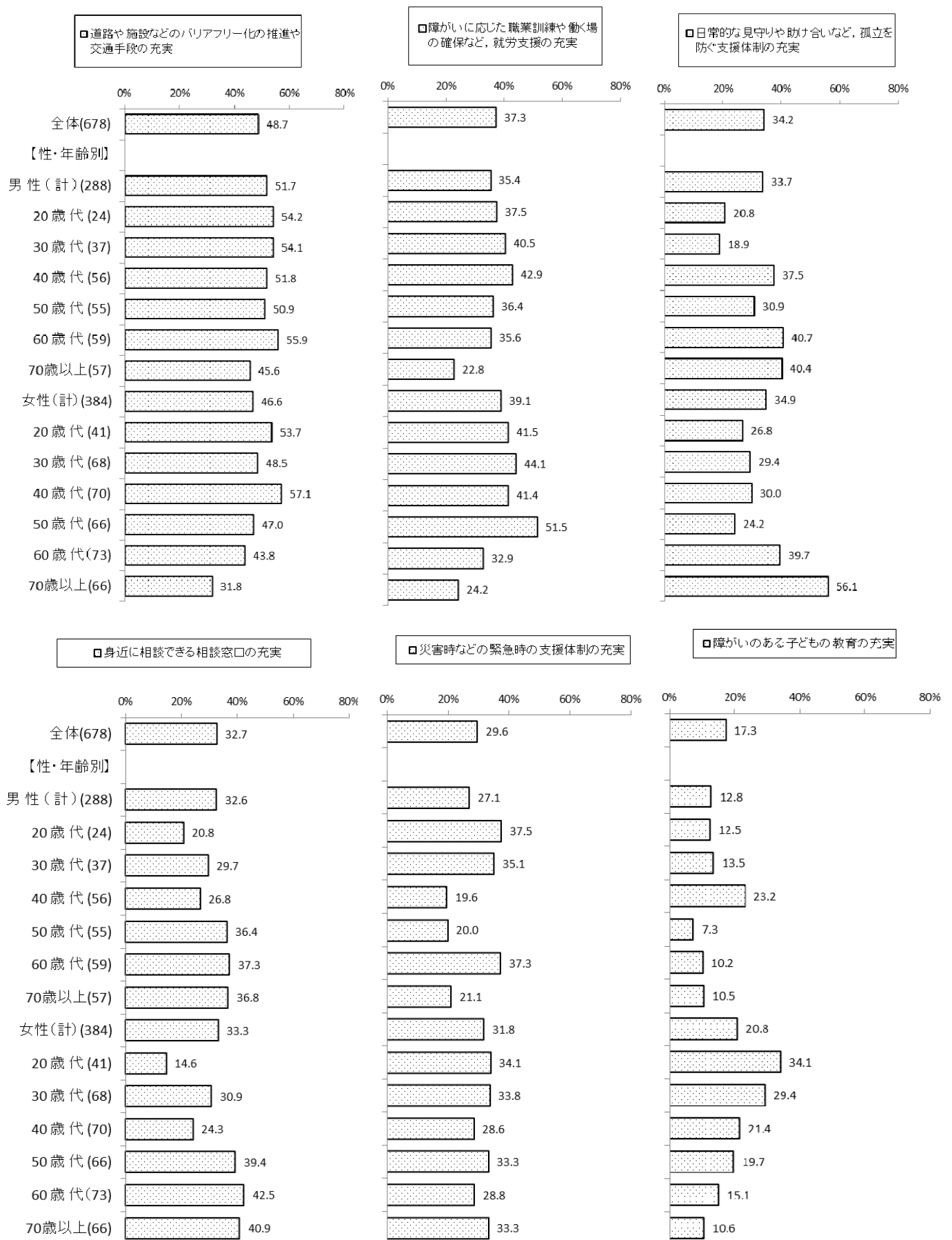
障がいのある人が、自分の能力や特性に応じ、住み慣れた地域で安心して自立した生活を営むために、今後さらに充実すべき施策はどのようなことだと思うか聞いたところ、「道路や施設などのバリアフリー化の推進や交通手段の充実」(48.7%)がほぼ5割で最も高くなっている。次いで、「障がいに応じた職業訓練や働く場の確保など、就労支援の充実」(37.3%)、「日常적인見守りや助け合いなど、孤立を防ぐ支援体制の充実」(34.2%)、「身近に相談できる相談窓口の充実」(32.7%)の3つが3割台と続いている。(図IV-5-1)

性・年齢別で見ると、「道路や施設などのバリアフリー化の推進や交通手段の充実」は<女性/70歳以上>(31.8%)で3割となっているが、それ以外は全て4割を超えている。「障がいに応じた職業訓練や働く場の確保など、就労支援の充実」は<女性/50歳代>(51.5%)で5割を超えている。(図IV-5-2)

<図Ⅳ－５－１>全体



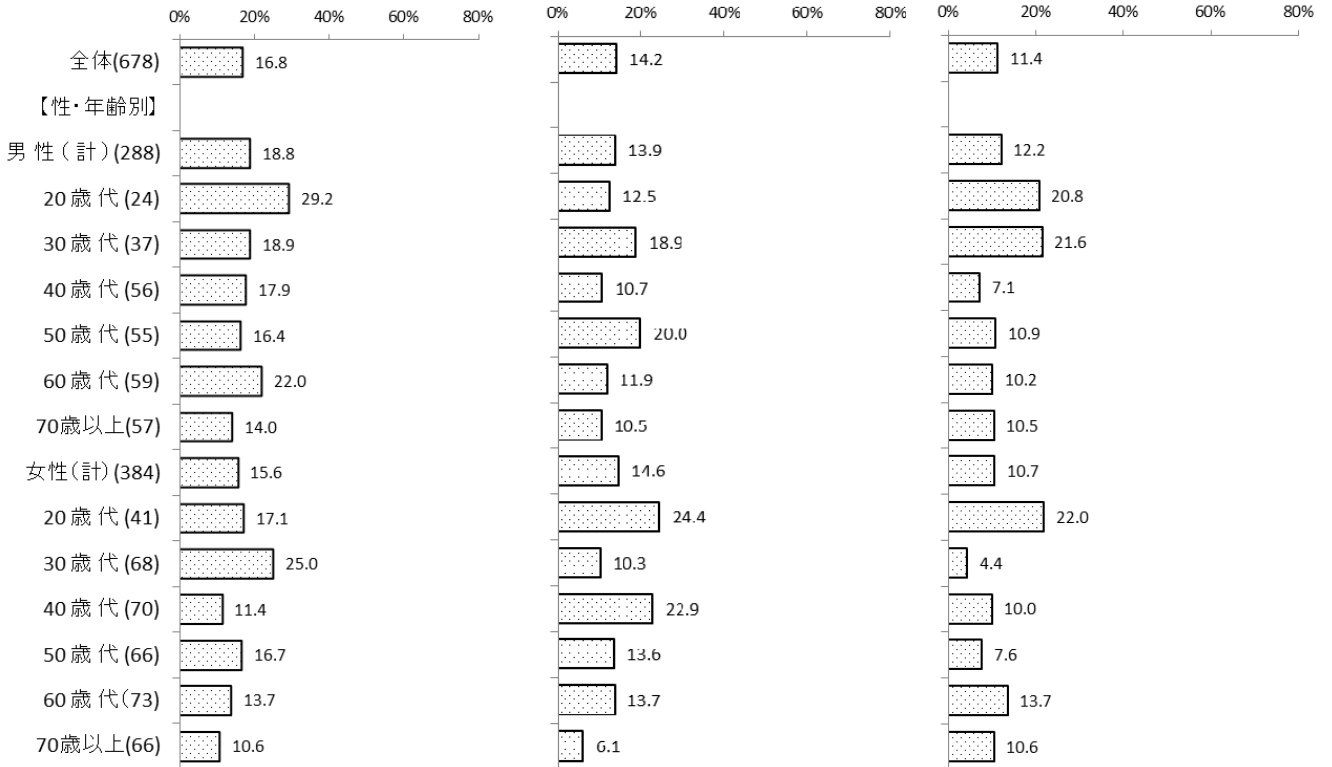
<図Ⅳ-5-2>性・年齢別



□ 障がいのある人向けの居住の場の確保

□ 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動や福祉教育の推進

□ 虐待防止や差別の禁止など、障がいのある人の権利を守る施策の充実



□ 障がいのある人の文化・芸術・スポーツなど、社会参加活動への支援

□ 点字や手話など、障がい特性に応じた情報提供の充実

